

報道関係者向け現地調査

報道関係者に県内農業の現状や関連施策への理解を深め、農業分野の情報発信を促進し、国民の農業への理解と関心の醸成につなげるため、現地見学会および意見交換会を開催

○ 施策分類

広報

○ きっかけ・背景、課題の把握

平成16年度からの関東農政局の取組「各都県における報道関係者とのコミュニケーションの促進」を端緒に、今年度で22回目。

○ 取組の内容

高山村は、群馬県の北西部に位置し人口約3千人、農地面積約490haの中山間地域で、少子高齢化や主力産業である農林業の衰退、担い手不足が大きな課題となっている。

当拠点としては、「環境負荷低減農業、農村振興について高山村の取組を見てみよう」と題して、村が取組んでいる①「オーガニックビレッジ宣言」、②GI登録の伝統野菜「高山きゅうり」、③村外からの人材を積極的に受入れ農業関係人口の増加に取組むなど、村の農業振興や地域活性化を図る取組にフォーカスした現地調査を行った。

○ 効果・成果、今後の方向性

調査後、新聞にて高山村の農業の現状について報道された。参加者へのアンケート結果から、“高山村を通し中山間地域農業に関する取組を聞く貴重な機会となった”“新規就農を目指す生産者の声や課題が聞けた”など、現地調査に対する評価をいただいた。今後も現地調査を通じ当拠点との関係強化を図るとともに、情報発信につなげていきたいと考えている。

令和7年度
報道関係者向け現地調査



令和7年8月20日（水曜日）
関東農政局群馬県拠点

農林水産省
ロジブック



群馬県高山村
ごとう こうぞう
後藤 幸三 村長

村の豊かな自然環境を次世代へつなげるため、村全体で有機農業の推進や認知度向上に取り組みます。

オーガニックビレッジ宣言

体制図

